

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:平成31年3月5日

事業所名 ぴっころ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		規定に基づき、活動スペースを確保しています	お子様の人数や活動内容に応じて安全に活動できるよう配慮しています
	2	職員の配置数は適切である	7		基準以上(1日4~6名)の配置をしています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	ミーティングや課題検討等で意見交換をしています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者会や面談の際に出た意見などを活動や行事に取り入れています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			今回からHPIに公開予定です
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		外部評価などは実施出来ていませんが、機会があれば積極的に実施していきたいと思います
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部講師を招いての研修や、社内研修等も実施しています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		本人・保護者のニーズを聞き取り、また、日々の様子を観察し、計画書を作成しています	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			簡易のアセスメントツールを使用しているが、今後はもっと掘り下げたツールを検討中です
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインを踏まえ、支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		6ヶ月に1度、支援計画書の見直しを行い、策定した支援計画書に基づき支援を行っています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		日々のミーティングでスタッフ同士で意見を出し合い、活動プログラムを決めています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		季節の行事や、お子さんの特性を考えながら、活動内容を工夫しています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		保護者のご要望やお子さんの特性を考慮し、いろんな活動を組み込んだ支援計画書を作成しています	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		活動前にミーティングを行い、活動内容とねらい、スタッフの役割を事前に確認しています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	終了後には行えていないが、翌日のミーティングで振り返りを行っています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日々の記録の他、支援に対する記録を整備し、情報共有を図っています	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的に職員全員でカンファレンスを行い、評価、見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		支援会議には、管理者等が参加して、情報・意見交換を行っています。その後、会議内容を全職員に報告しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	7		区役所の子育て相談室・南部こども相談センターなどと連携し、支援を行っています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		7		該当者がおらず、未実施である
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		7		該当者がおらず、未実施であるが、受け入れの際は対応できるよう、嘱託医と契約をし、体制を整えています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		お子さんの様子が気になる場合などは、園などにも連絡をさせて頂き、支援内容の共有を行い、連携を図っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	契約時には学校を訪問させて頂き、情報の共有や連携を図っていけるよう、働きかけています	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		大阪市発達障がい者支援センター等の研修に参加しています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3		現状では機会の設定が出来ていないが、今後検討していきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1	毎回、会議には管理者等が出席しています	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		日々の連絡帳のやり取りや、緊急時には電話連絡等により保護者と連絡を取っています	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7			保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行うだけでなく、職員に対しても今後研修を行う予定です	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に丁寧に説明を行い、施設内に掲示をしています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		契約時や、6か月に一度は支援計画の見直しを行い、保護者から同意を得ています	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		保護者からの相談には随時対応し、助言を行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		月に一度、定期的に保護者会を開催し、保護者同士の意見交換や連携の場を設けています	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		保護者からの相談には迅速に対応出来るよう、体制を整えています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		保護者会の開催や、月に一度の通信の発行等を行っています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		情報ファイルは鍵付きの書庫に保管しています	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		連絡帳への記載や電話、面談等の際に、お子さんの様子を保護者の方にお伝えしています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		現状では機会の設定が出来ていないが、今後検討していきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			各マニュアルを策定しており、定期的に職員や保護者への周知を徹底していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年二回、防災訓練を実施しており、実施内容は消防署にも提出しています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7		契約時に必ず確認をしています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7		該当者がいないため、未実施である
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		ヒヤリハット事例集は作成していますが、振り返りは不十分です。定期的にヒヤリハットの振り返りが必要と考えております
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		社内研修において、虐待に関する研修を行っています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		7		該当者がいないため、未実施。身体拘束の同意書は準備しています

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。